



幻想的な雰囲気をかもし出す山鹿灯籠踊り



秀岳館高校倭太鼓部の迫力あるばちさばき

## 磨きぬかれた芸能をたんのう

### 第10回伝統文化にふれる会開催

2月26日、「第10回伝統文化にふれる会」が町文化会館で、華やかに開催されました。

これは広く町民に地域の伝統文化、芸能の大切さを再認識してもらい、故郷を愛し、誇りをもってほしいと町文化協会（末武有二会長）が毎年開いているものです。

10代の若人が織りなす美と情熱の旋律をテーマに、益城町こ

ども神楽教室の神楽の舞で幕を開け、県立鹿本農業高校郷土芸能伝承部による山鹿灯籠踊り、熊本市出身の山下靖喬さんによる津軽三味線の演奏、秀岳館高校倭太鼓部の太鼓の演奏が披露されました。

詰め掛けた満員の観客は、県内外で活躍する若者の磨きぬかれた芸能を、心行くまでたんのうし、惜しみない拍手を送っていました。

## 地域貢献を約束します

### 高遊原曹友会から木山中へペットボトルキャップ寄贈

3月1日、世界中の子どもたちにポリオワクチンを贈ろうと、ボランティアでペットボトルのキャップを集めている木山中学校の生徒会に賛同した陸上自衛隊高遊原分屯地曹友会（古閑愛朗会長）から約45kgのキャップが贈られました。キャップは、隊員の皆さんとそこご家族が約半年をかけて集めたものです。

ボランティア委員は1年から3年までの21人。古閑会長からキャップを受け取ったボランティア委員長の小田えみりさん（2年）は「地域を活性化している自衛隊の皆さんのようにボランティアを通して学校や地域に貢献していきたい」と今後の活動に意欲を燃やしていました。



曹友会の古閑会長（後列右）、村山さん（後列左）と木山中ボランティア委員の皆さん



みんなで楽しくいただきました

## おいしいお茶、めしあがれ

### 益城幼稚園でお茶会

益城幼稚園（菅恵利子園長、127人、木山）で3月2日、お茶会があり、園児たちがお茶の手ほどきを受けました。

お茶会では、肥後古流の森千鶴子さんら11人が、おもてなしの心を学んでほしいと実演を交えて作法を説明。園児たちは、行儀よく正座し、あいさつの仕方や飲み方、出し方などを興味深そうに見つめていました。その後、園児たちはお互いに向き合い、お菓子や自分でたてたお茶を差し出し「お菓子をどうぞ!!」「お茶をどうぞ!!」とお点前を披露。受け取った子どもたちも「ありがとうございます!!」と大きな声であいさつをして、抹茶やお菓子を口にしていました。